

令和5年度 愛媛県立野村高等学校 入学式式辞

風は光り、山々の生き生きとした緑が目眩しい今日の佳き日に、御来賓の皆様、保護者の皆様をお迎えし、令和5年度 愛媛県立野村高等学校 入学式をこのように盛大に挙行できますことを心より感謝申し上げます。

ただいま入学を許可しました普通科45名、農業科14名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。在校生、教職員全員が皆さんの入学を心待ちにしておりました。それから、保護者の皆様、本日は立派に成長されたお子様の姿を御覧になり、感慨もひとしおのことと拝察いたします。本当におめでとうございます。

さて、新入生の皆さん。皆さんは十年後の自分について考えたことがあるでしょうか。十年後、皆さんは25歳になっています。15歳から25歳という人生の軸を決定する大切な時期を、皆さんはこれからどのように過ごせばよいのでしょうか。

先日、WBCの決勝戦で、大谷翔平選手が9回表に「泥だらけのストッパー」としてマウンドに立ち、エンジェルスของทีมメイトであるトラウト選手から三振を奪って、日本チームが優勝したことは実に明るいニュースでした。

大谷選手は現在28歳。その大谷選手が皆さんと同じ高校1年の時に作った「目標達成シート」については、聞いたことがある人が多いのではないのでしょうか。この目標達成シートは、強い目標（夢）を中央に書いて、周囲の9×9の合計81マスにその夢を達成するための細かい目標で埋めたものです。高校1年の大谷選手が中央に書いた夢は「プロ野球の8球団からドラフト1位指名を獲得すること」でした。そして、その周囲に書いた夢達成のための要素は、体づくり、人間性、メンタル、コントロール、キレ、スピード160キロ、変化球、運の8つでした。

この中で、私が最も気になった要素は、「人間性」です。15歳の大谷選手が、夢をかなえるためにはコントロールや変化球といった野球の技術だけではなく、「人間性」も必要だと考えていたことに私は驚きました。そして、この「人間性」を高めるために、彼がさらに考えた具体的な目標は、計画性、感謝、継続力、信頼される人間、礼儀、思いやり、感性、そして愛される人間の8つでした。

大谷選手がさまざまな才能に恵まれた人間であることに間違いはないのですが、日本球界を飛び出して環境の異なる大リーグでも活躍でき、また、WBCでは初めて出会った日本チームのメンバーと自然体の付き合いができていた様子を見た時に、私は、これは大谷選手が高校1年の時に立てた「人間性」を高めるための努力の賜物だと強く感じました。

先程申し上げた、大谷選手が掲げた人間性を高めるための8つ具体的な目標のうち、私は、特に「感謝」「思いやり」「愛される人間になる」の3つは、皆さんがこれからの十年間を充実したものにするために不可欠な要素だと考えています。どんなに頑張ってもうまくいかない時や、大きな壁にぶつかった時には、自分には「感謝」や「思いやり」の気持ちが足りないのではないかと、自分さえよかったらいいと思っていないかをチェックしてみてください。私も含めて、人間は本来、非常に自分勝手な生き物です。大谷選手のように、意識して「感謝」や「思いやり」の気持ちを持つように努力することで、皆さんは自然と「愛される人間」になっていくはずだと私は確信しています。

皆さんが入学してきた高校というところは、中学校までとは全く異なる世界です。初めての先生や初めての友だちに囲まれ、新しい勉強や活動に挑戦する厳しさは、並大抵のものではありません。でも、そんな中、仲間を思いやりながら、仲間と協力して、充実した学校生活を過ごしていくために、私は、皆さんには、この「感謝」「思いやり」「愛される人間」というキーワードをいつも心に持ちながら、生活してほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、私たち野村高校の教職員は、お子様が成長していくための支援を全力で行う所存です。保護者の皆様におかれましても、本校の教育への御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日、入学しました皆さんの高校生活が、健やかで輝かしいものとなりますよう心から祈念して入学式の式辞といたします。

令和五年四月十日 愛媛県立野村高等学校長 山下 和宏